

森林パトロール通信

令和4年7月発行 第2号

クリーン作戦

令和4年6月22日(水)、五月女范国有林の海岸林において、森林ボランティア巡視員をはじめ五所川原市職員等総勢48名が参加して令和4年度クリーン作戦を実施しました。

金木支署管内の五月女范地区は、日本海からの風が強く一帯が防風保安林に指定されています。

当日は東風(ヤマセ)が強く肌寒く感じましたが、参加者の皆さんは「美しい海岸防災林」を取り戻そうと海岸に漂着したペットボトル・空き瓶や網等の漁具を拾い集めました。ゴミ袋がすぐに一杯になる程のゴミの多さに、受付で配布されたゴミ袋では足りなくなる様子でした。追加でゴミ袋をもらいゴミ拾いする参加者も多く見られました。

今年は、例年よりペットボトルは多かったものの、空き缶が少なかった印象を受けました。拾い集めたゴミは一定の場所に集積した後、五所川原市のゴミ収集車へ積み込み、無事に綺麗な海岸林にすることができました。

今後も、地元自治体や巡視員の皆様方と連携しながら防風保安林の機能維持・向上に努め、「美しい海岸防災林」を後生に継承していきたいと思います。

参加していただいた皆様方には、心より感謝申し上げます。



作業の様子



作業終了後に全員で記念撮影

労働災害防止協議会開催

令和4年6月20日(月)、五所川原労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会青森支部及び金木支署管内の林業事業体が参加して労働災害防止協議会を開催しました。

午前中は、小田川山国有林内の森林環境保全整備事業箇所において、実際に伐倒～集材～造材～運搬～巻立まで一連の作業を行い、その後、監督署、林災防青森支部より現場作業に関する講評をいただきました。

午後からは会場を金木公民館に移して、引き続き監督署、林災防青森支部より青森県内における業種別労

働災害発生動向や厚生労働省が定める第13次労働災害防止計画(2018年度～2022年度)による安全指導が行われました。参加者は、労働災害防止に向けた決意を新たにしました。



作業の様子



五所川原労働基準監督署長による講評



安全指導の様子

地元小学生を対象に森林教室「水の旅」を行いました

令和4年6月17日(金)、小田川土地改良区からの協力要請で、五所川原市立いずみ小学校4年生児童24名を対象に森林教室「水の旅」を行いました。

この水の旅は、「田んぼの水はどこから来てどこへ？」をテーマに小田川水系の貯水ダム・貯水池・農業用水路の見学を行うもので、金木支署では、小田川ダム周辺の「水源の森」において、「水をつくる森林」をテーマに約50分の森林教室を行いました。

始めに、「森林のいろいろな働き」では、地球温暖化防止・土砂崩れ防止・水を蓄えてきれいにする働きがあることや「青森ヒバの特徴」等をクイズを交えながら行いました。

次に、砂・礫混じり土・腐葉土の3種類を山に置き換えて、森林に雨が降ったらどうなるのか水をかける実験を行い、児童からは「砂と一緒にすごい勢いで水が流れてきた。」「砂利が入ってる土は水が濁って土の上に水がたまっている。」「腐葉土は水がなかなか出てこない。」と森林が水を蓄える力に驚きの声をあげているのが印象的でした。

最後に、森林が水を浄化する働きを再現した「ろ過装置」の実験を行い、茶色に濁った泥水を入れると、下からきれいな水が流れ落ち一同「きれいな水が出てきた。」と正直な感想を話していました。

森林教室終了後は、職員から「どんぐりのストラップ」がプレゼントされ、笑顔で次の目的地に向かいました。



森林教室の様子

